

令和 6 事業年度

決 算 報 告 書

第 2 0 期事業年度

自：令和 6 年 4 月 1 日

至：令和 7 年 3 月 3 1 日

国立大学法人富山大学

令和6事業年度 決算報告書

国立大学法人富山大学

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)	備 考
収 入				
運営費交付金	12,005	13,129	1,123	(注1)
うち補正予算による追加	-	591	591	
施設整備費補助金	808	1,044	236	(注2)
うち補正予算による追加	-	9	9	
補助金等収入	2,442	1,373	△ 1,068	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	32	32	-	
自己収入	30,983	31,970	987	
授業料、入学料及び検定料収入	5,463	5,260	△ 203	(注4)
附属病院収入	25,375	26,435	1,060	(注5)
雑 収 入	144	274	129	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	2,531	3,177	645	(注7)
引当金取崩	34	45	10	(注8)
長期借入金収入	2,714	1,367	△ 1,346	(注9)
目的積立金取崩	3,343	652	△ 2,690	(注10)
計	54,894	52,793	△ 2,101	
支 出				
業務費				
教育研究経費	18,706	18,018	△ 687	(注11)
うち教育・研究基盤維持経費	-	88	88	
うち設備災害復旧経費	-	13	13	
うち退職手当	-	114	114	
うち年俸制導入促進費	-	9	9	
診療経費	26,634	24,913	△ 1,720	(注12)
施設整備費	3,554	2,444	△ 1,109	(注13)
うち災害復旧事業	-	9	9	
補助金等	2,189	1,103	△ 1,086	(注14)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	2,531	2,783	252	(注15)
長期借入金償還金	1,278	1,262	△ 16	(注16)
計	54,894	50,526	△ 4,368	
収 入 － 支 出	-	2,266	2,266	

※金額は、百万円未満切り捨てにより作成しているため、合計が合わない場合がある。

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金の追加配分及び前年度からの繰越額が当初見込みより増加したことによる1,123百万円の増
- (注2) 事業計画の変更による236百万円の増
- (注3) 見込み額を過大に見積もっていたことによる1,068百万円の減
※補助金等収入には授業料等減免費交付金が262百万円含まれており、本補助金は授業料等免除に使用している。
- (注4) 見込みよりも授業料収入が少なかったことによる177百万円の減、見込みよりも入学料収入が少なかったことによる18百万円の減、見込みよりも検定料収入が少なかったことによる7百万円の減
- (注5) 入院診療単価の向上、新入院患者の増加、病床稼働率の向上等による1,060百万円の増
- (注6) 財産貸付料収入、特許権等収入、有価証券利息等が増えたことによる128百万円の増、予算段階で見込んでいなかった保険金の入金による1百万円の増
- (注7) 外部資金の獲得に努め、受入額が増えたことによる645百万円の増
- (注8) 予算段階で予定していなかった引当金の取崩しによる10百万円の増
- (注9) 事業計画の変更による1,346百万円の減
- (注10) 事業計画の変更による2,690百万円の減
- (注11) 人件費等の執行額が減ったことによる687百万円の減
- (注12) 再整備事業の工事延期による事業計画変更、光熱費が当初見込みより上昇しなかったこと等による1,720百万円の減
- (注13) 事業計画の変更による1,109百万円の減
- (注14) (注3)に示した理由による1,068百万円の減、事業計画の変更により執行額が減ったことによる18百万円の減
- (注15) 受入額の増加に伴い執行額が増えたことによる252百万円の増
- (注16) 見込み額を過大に見積もっていたことによる16百万円の減

○損益計算書の計上科目と決算報告書の集計区分の相違の概要

- (1) 損益計算書に計上されている人件費は、決算報告書上は業務費に含めて表示している。
- (2) 損益計算書に計上されている支払利息62百万円は決算報告書上、長期借入金償還金に含めて表示している。